

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100849
事業所名	グループホーム なごみの里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入し、回覧板を通じて地域住民との関わりを持ち、地域情報の収集を得ている。民生委員とは地域防災訓練の参加や地域イベントの秋祭りでの協働関係を深め、相互に良好な関係性を継続させている。今年度は自粛状態にあった地域イベントを通じて地域交流を深め、今後更に地域に根差した活動が期待される。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	推進会議は年6回、定期的に実施している。包括職員、民生委員、家族代表の参加があり、運営報告や地域情報収集、意見交換の場として運用している。会議事録は家族が閲覧できる様に玄関先に配置し、職員に対しても議事録で周知し、サービス反映に繋げる体制を整えている。管理者が近隣グループホームの推進会議への参加を継続し、同業者間の連携を深めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区担当窓口や生活保護課には、電話や直接出向き、何かあれば相談できる関係を築き連携を図っている。研修の案内がFAXや郵送、メールで届き、今後必要な研修を順次参加の意向がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	毎月「なごみの里たより」を発行し、日常の生活風景や活動時の写真を個別のコメントを寄せて伝え、家族へ安心や信頼に繋げている。また面会時、電話や夜陰、メールで随時近況報告し、家族からの要望があれば会議等で検討し日頃の支援や介護計画に反映する様に努めている。外部評価等での家族からの意見は職員に周知し、運営改善に向けて取り組んでいる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総 合 評 価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確 認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価		○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							